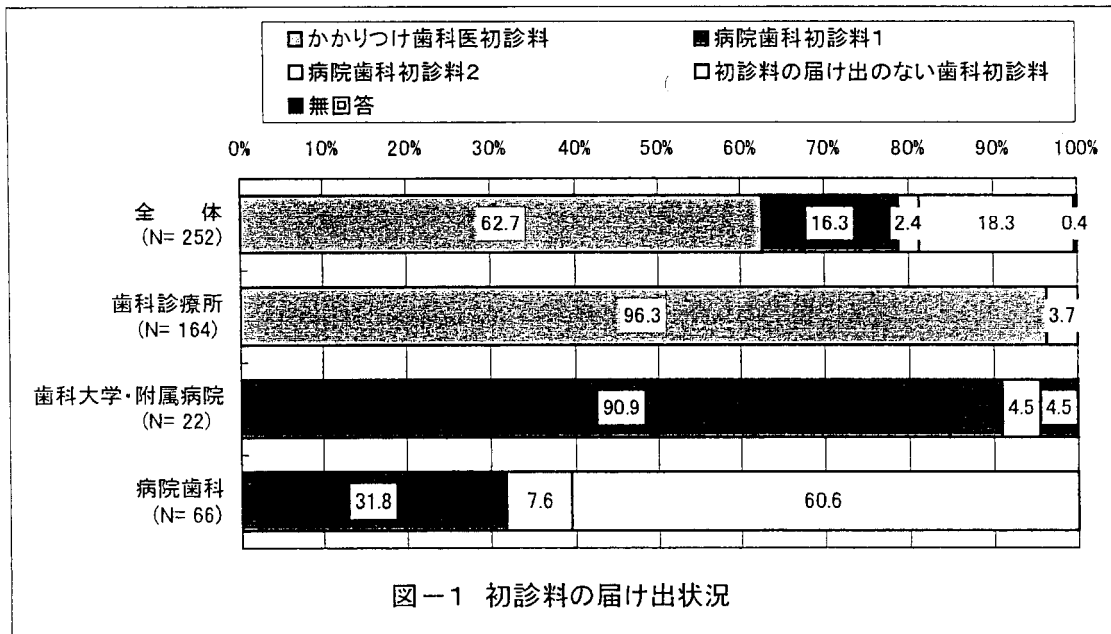


IV. 調査結果の詳細

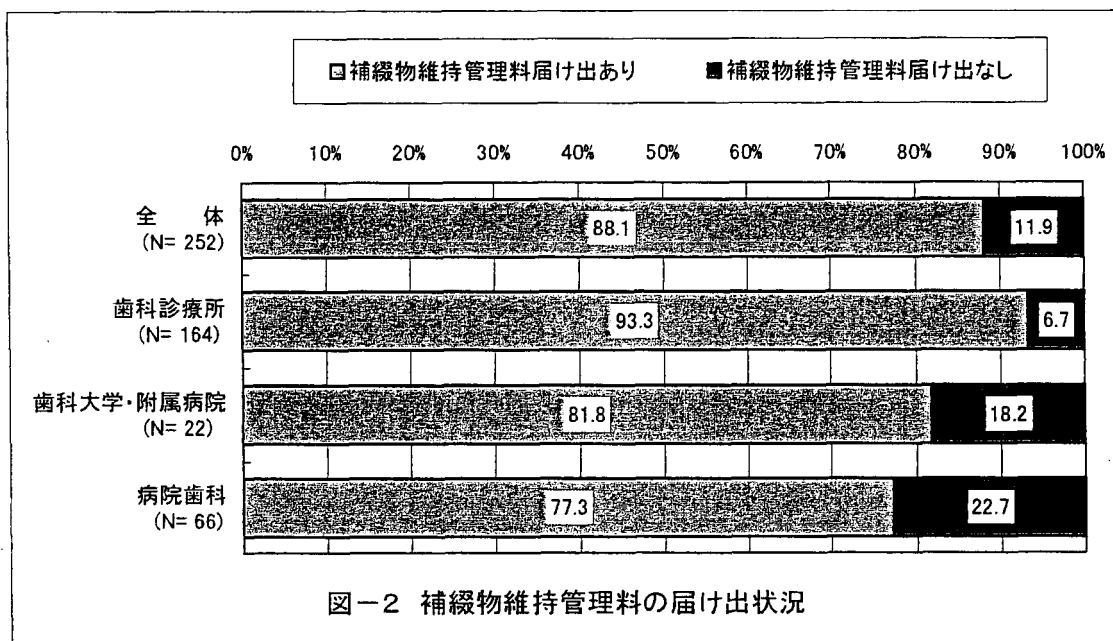
1. 医療機関

1) 初診料等の届け出状況

初診料の届け出についての回答を全体でみると、「かかりつけ歯科医初診料」62.7%、「病院歯科初診料 1」16.3%、「病院歯科初診料 2」2.4%であり、「初診料の届け出のない歯科初診料」は18.3%であった。初診料の届け出について医療機関の種類別で見ると、歯科診療所では「かかりつけ歯科医初診料」が96.3%、歯科大学・附属病院では、「病院歯科初診料 1」が90.9%、「病院歯科初診料 2」が4.5%となっており、病院歯科では、「病院歯科初診料 1」が31.8%、「病院歯科初診料 2」が7.6%となっていた（図-1）。

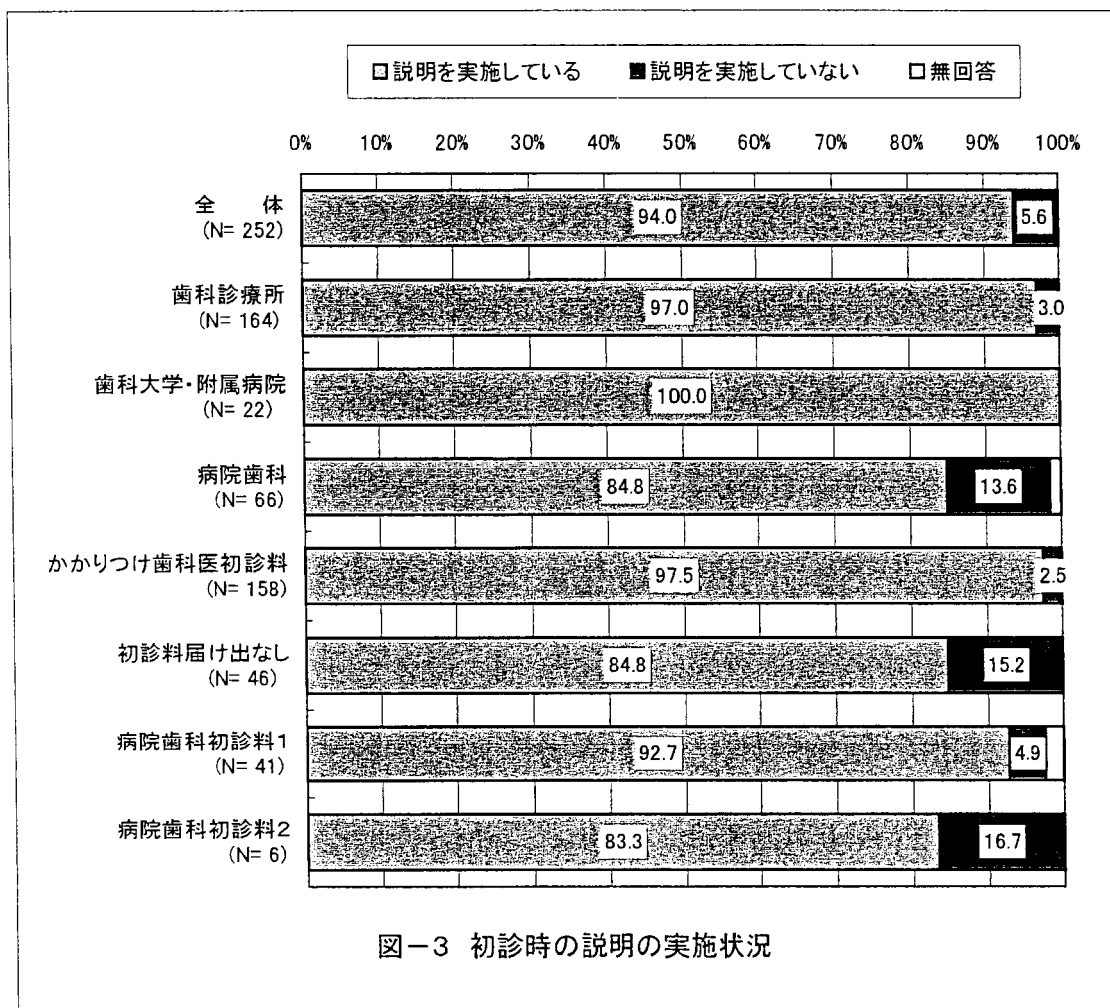


「補綴物維持管理料」の届け出について全体で見ると、「補綴物維持管理料」を届け出でていたのは 88.1%、届け出でていないのは 11.9%であった。「補綴物維持管理料」の届け出について医療機関の種類別で見ると、歯科診療所では 93.3%、歯科大学・附属病院では 81.8%、病院歯科では 77.3%となっていた（図-2）。



2) 初診時の病名・病状・医療内容・治療期間等の説明について

初診時の病名・症状・医療内容・治療期間等の説明状況を全体で見ると、94.0%の医療機関が「説明を実施している」と回答した。初診時の説明を医療機関の種類別にみると、「説明を実施している」との回答は「歯科診療所」の 97.0%、「歯科大学・附属病院」の 100.0%、「病院歯科」の 84.8%であった（図-3）。



以下、表現の中の『難しい』は「難しい」＋「やや難しい」を、『易しい』は「易しい」＋「やや易しい」を合計したものを表記する。

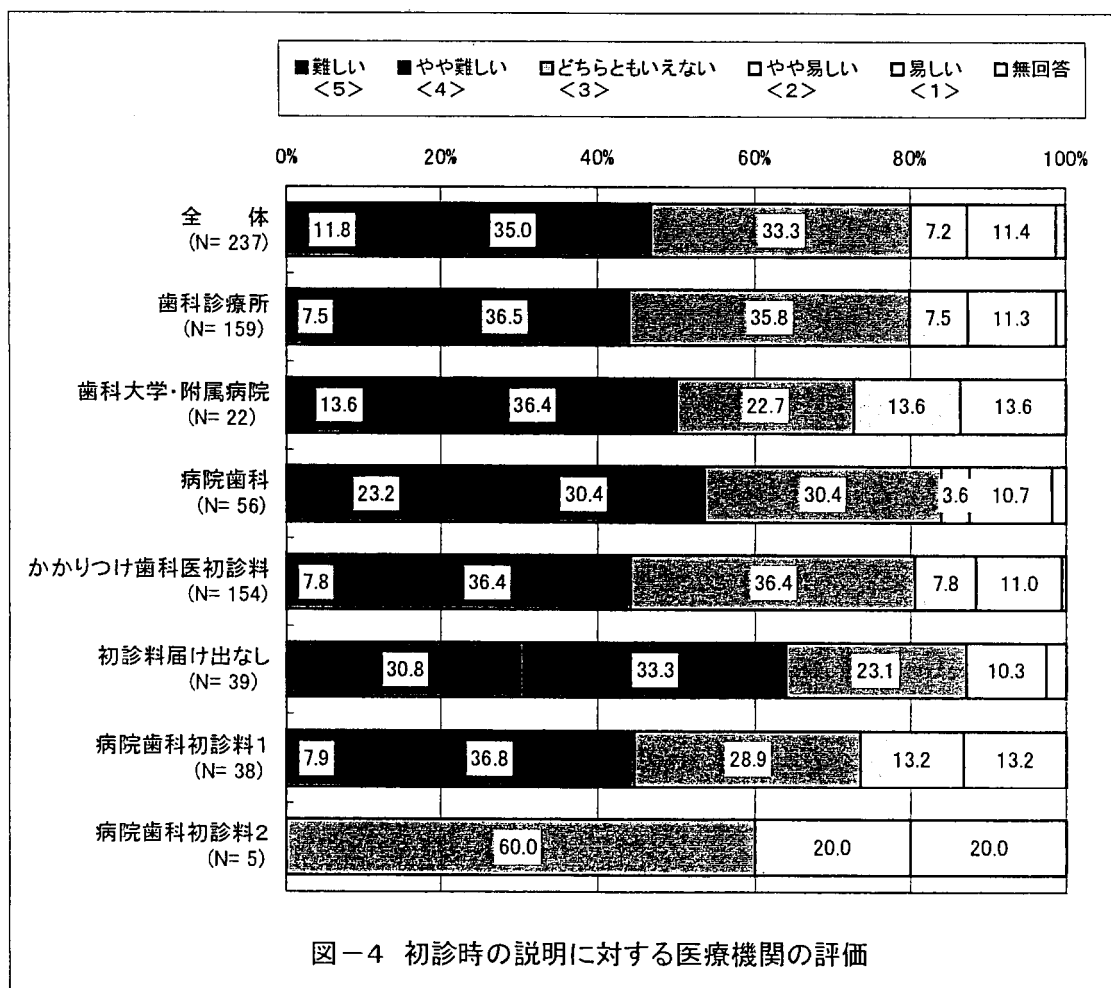
3) 初診時の説明に対する評価

患者への初診時の病名・症状・医療内容・治療期間等の説明に対する評価を全体で見ると、「難しい」が 11.8%、「やや難しい」が 35.0%で、これを合計して『難しい』は 46.8%であった。

また、「どちらともいえない」は33.3%、『易しい』は18.6%となっており、難しいと考えている割合が多かった。

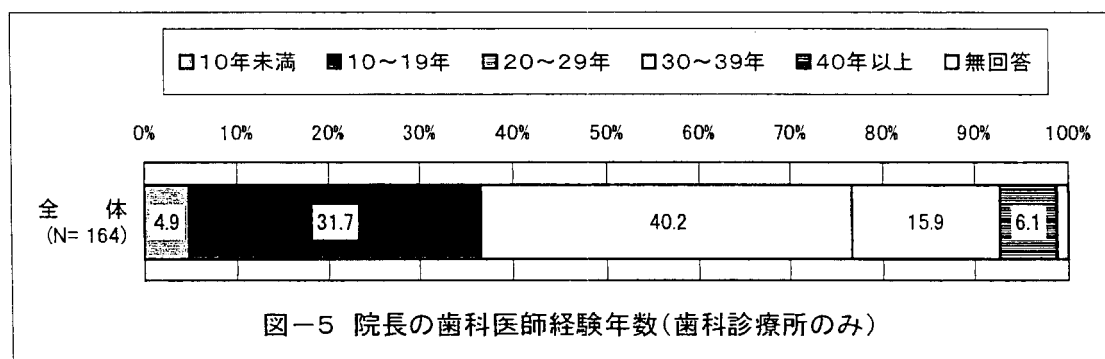
これを医療機関の種類別に見ると、『難しい』と回答したのは、「病院歯科」の53.6%、「歯科大学・附属病院」の50.0%、次いで「歯科診療所」の44.0%であった。一方、「どちらともいえない」と回答したのは、「歯科診療所」の35.8%、「病院歯科」の30.4%、「歯科大学・附属病院」の22.7%であった。『易しい』と回答したのは、「歯科大学・附属病院」の27.2%、「歯科診療所」の18.8%、「病院歯科」の14.3%であった。

初診料の届け出の種類別で見ると、『難しい』と回答したのは「初診料届け出なし」の医療機関の64.1%、「かかりつけ歯科医初診料」の44.2%、「病院歯科初診料1」の44.7%、「病院歯科初診料2」の0%であった。「病院歯科初診料2」の回答者数は5名と少ないことに留意すべきである（図-4）。



4) 院長の歯科医師経験年数（歯科診療所のみ）

歯科診療所の院長の経験年数では、「20～29年」が40.2%と最も多く、次いで「10～19年」の31.7%、「30～39年」の15.9%であった（図-5）。

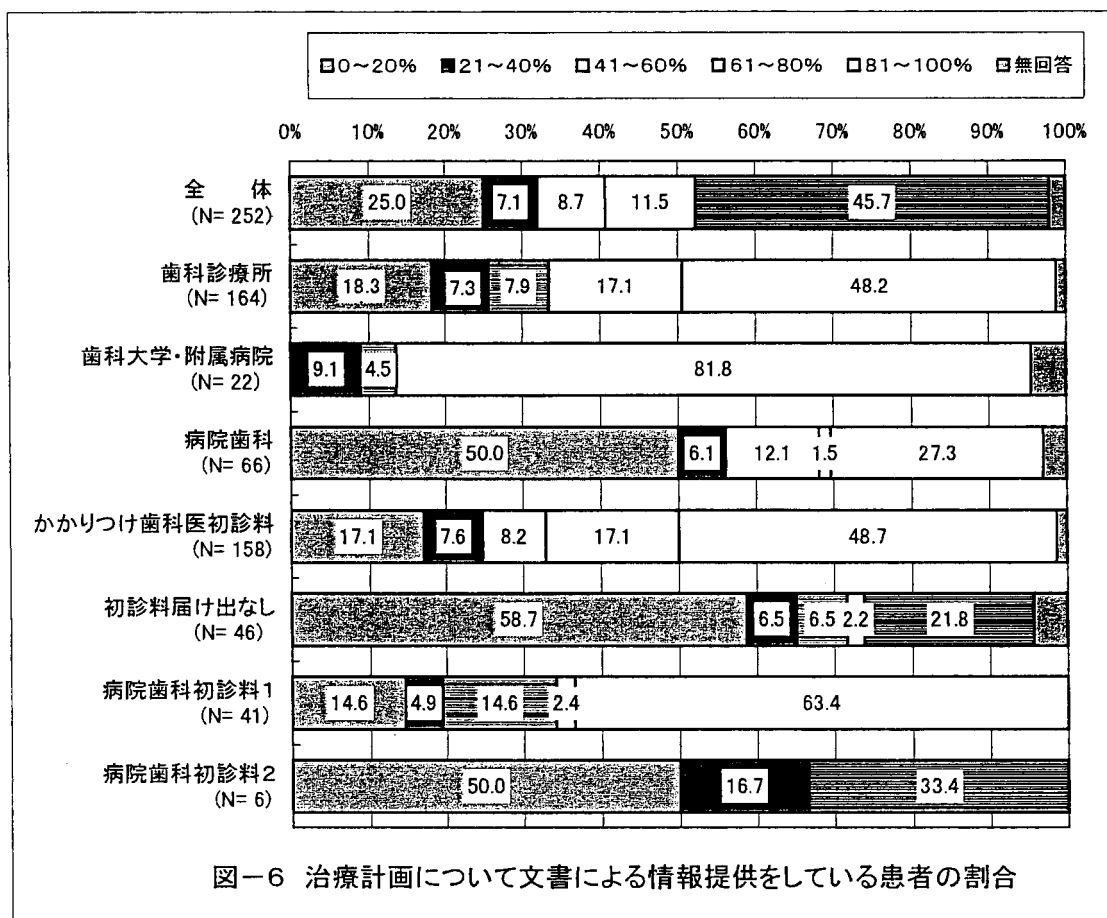


5) 治療計画について文書による情報提供をしている患者の割合

治療計画について文書による情報提供をしている患者の割合を全体で見ると、「81～100%」が45.7%、「0～20%」が25.0%、「61～80%」が11.5%、「41～60%」が8.7%、「21～40%」が7.1%、無回答が2%であった。

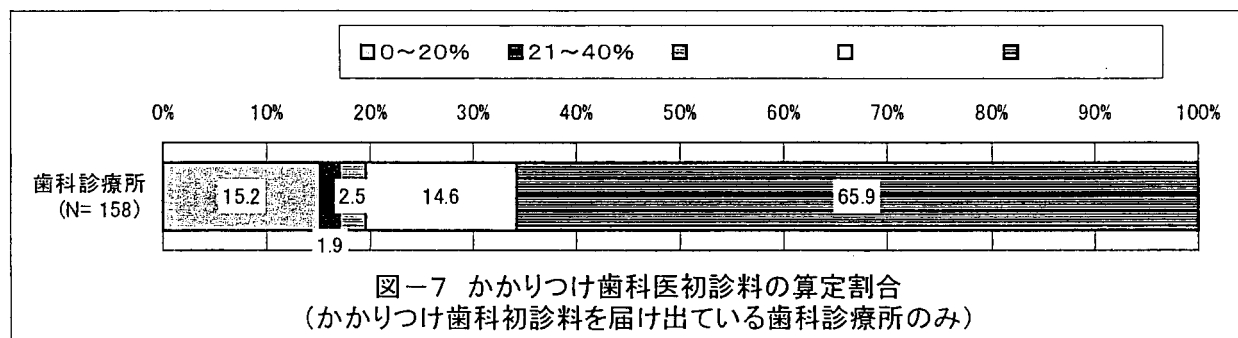
医療機関の種類別に見ると、歯科診療所では、「81～100%」が48.2%、「61～80%」が17.1%との回答であった。次に歯科大学・歯学部附属病院を見ると、「81～100%」が81.8%、「21～40%」が9.1%との回答であった。病院歯科では「0～20%」が50.0%、「81～100%」が27.3%との回答であった。

初診料の届け出の種類別で見ると、「初診料届け出なし」の歯科医療機関は「0～20%」が58.7%、「81～100%」が21.8%との回答であった。次に「かかりつけ歯科医初診料」の医療機関は「81～100%」が48.7%、「0～20%」と「61～80%」が17.1%との回答であった。「病院歯科初診料1」の歯科医療機関では、「81～100%」が63.4%、「0～20%」と「41～60%」が14.6%との回答であった。「病院歯科初診料2」の歯科医療機関は、「0～20%」が50.0%、「81～100%」が33.4%との回答であった。「歯科初診料」の歯科医療機関よりも「かかりつけ歯科医初診料」を届け出ている歯科診療所の方が、初診時に文書を交付している割合が高い回答が多かった。また、「病院歯科初診料2」の歯科医療機関よりも「病院歯科初診料1」を届け出ている病院の方が初診時に文書を交付しているとの割合が高い回答が多かった（図-6）。



6) かかりつけ歯科医初診料の算定割合（かかりつけ歯科医初診料を届け出ている歯科診療所のみ）

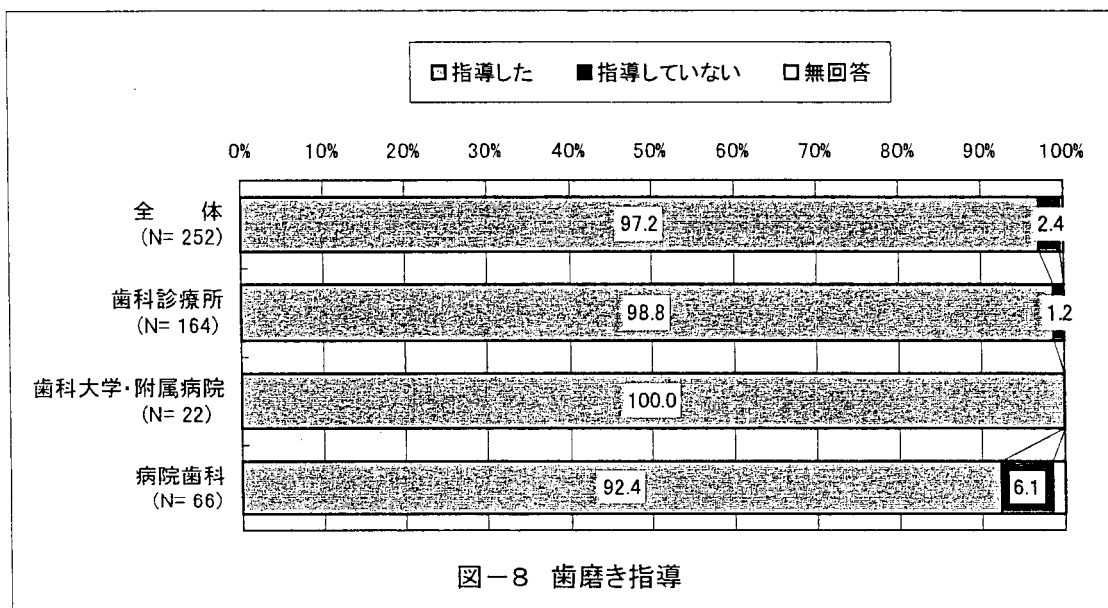
かかりつけ歯科医初診料の算定割合（歯科診療所のみ）を全体で見ると、「81～100%」が 65.9%、「0～20%」が 15.2%、「61～80%」が 14.6%、「41～60%」が 2.5% 「21～40%」が 1.9%の順となっていた（図-7）。



7) 歯磨き指導

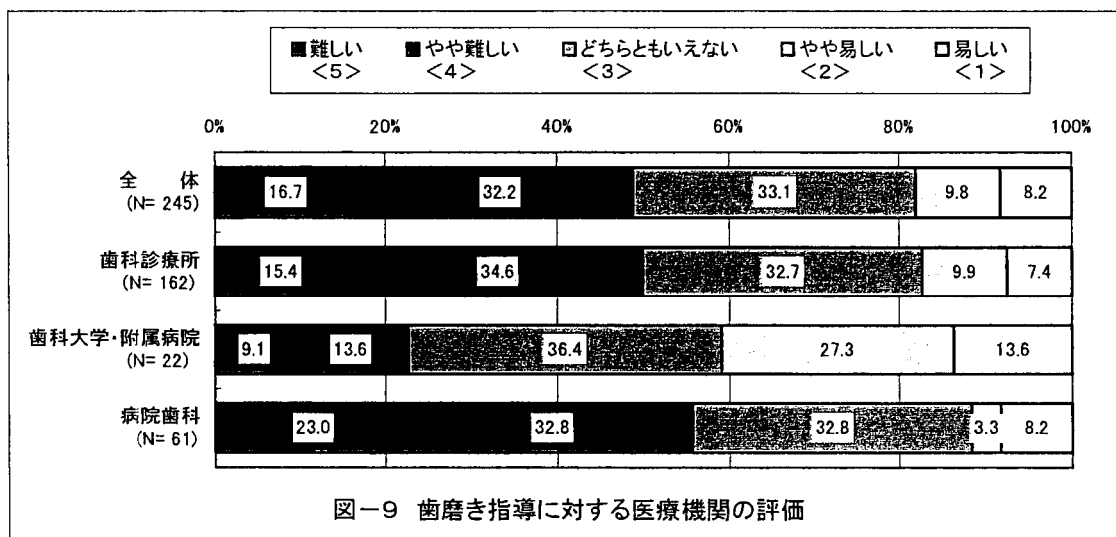
歯磨き指導についての回答を全体で見ると、「指導した」が97.2%、「指導をしなかった」が2.4%であった。

医療機関の種類別に見ると、「歯科診療所」の98.8%、「歯科大学・附属病院」の100.0%、「病院歯科」92.4%が「指導した」と回答した（図-8）。



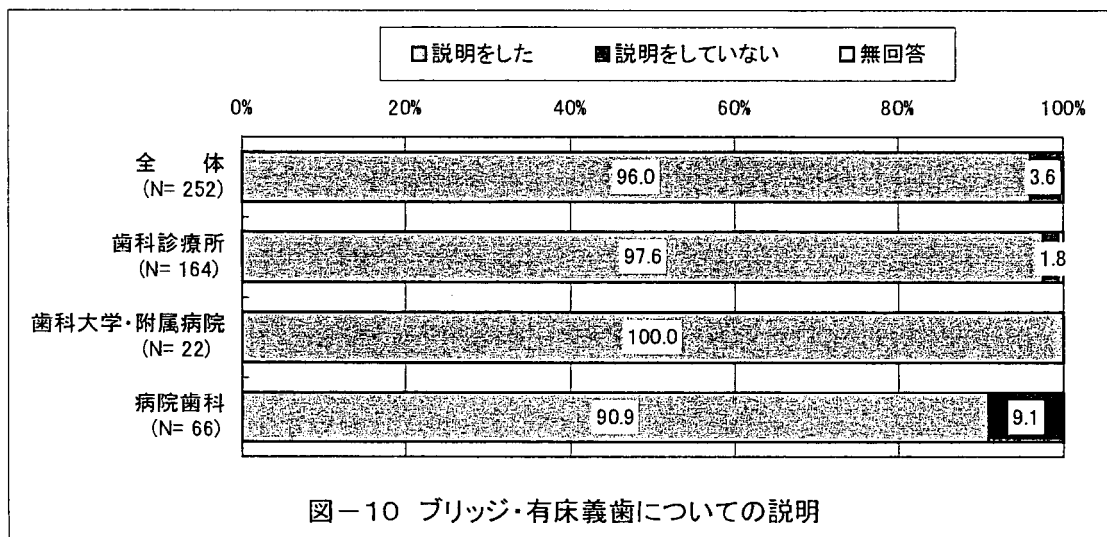
8) 歯磨き指導に対する評価

歯磨き指導に対する医療機関の評価を全体で見ると、『難しい』が48.9%、『易しい』が18.0%、「どちらともいえない」が33.1%の回答であった。また、医療機関の種類別に見ると、「病院歯科」の55.8%、「歯科診療所」50.0%、「歯科大学・附属病院」の22.7%が『難しい』との回答であった。「病院歯科」や「歯科診療所」に比較して、「歯科大学・歯学部附属病院」が指導を『難しい』と答えた比率は約半分であった（図-9）。



9) ブリッジ・有床義歯についての説明

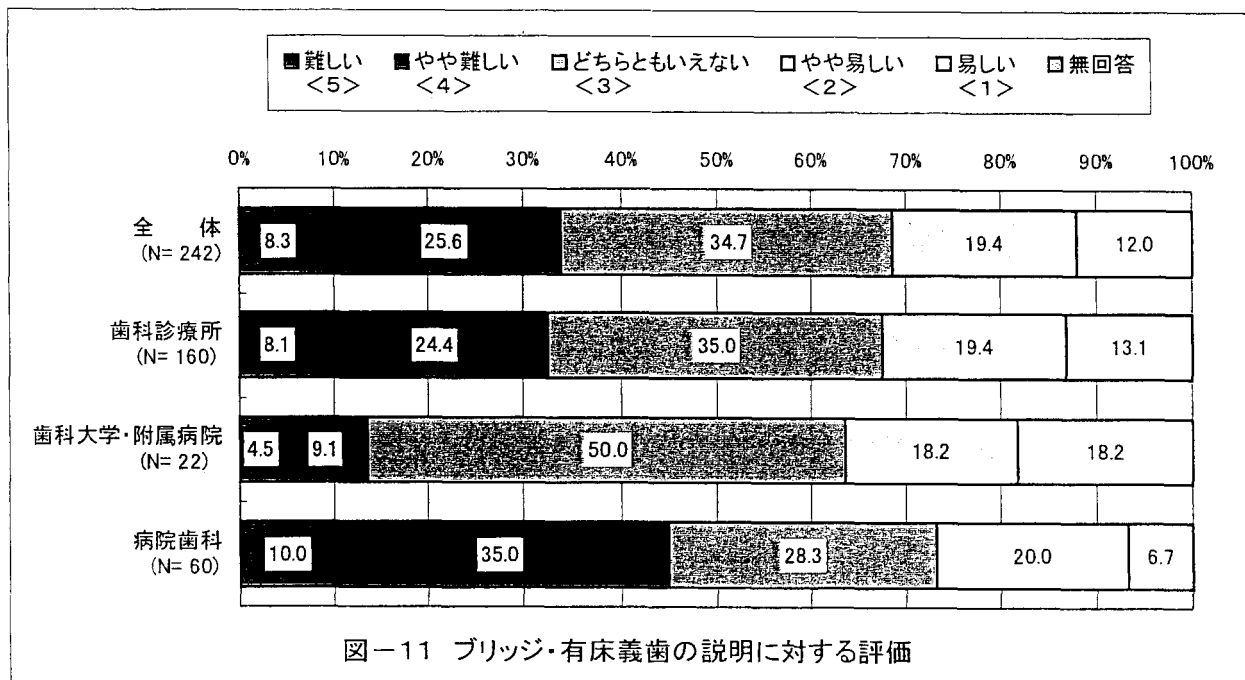
ブリッジ・有床義歯についての説明を全体で見ると、「説明をした」が 96.0%、「説明をしていない」が 3.6%との回答であった。医療機関の種類別に見ると、「歯科診療所」の 97.6%、「歯科大学・附属病院」の 100.0%、「病院歯科」の 90.9%が、「説明をした」と回答した（図-10）。



10) ブリッジ・有床義歯の説明に対する評価

ブリッジ・有床義歯の説明に対する医療機関の評価を全体で見ると、『難しい』が33.9%、『易しい』が31.4%、『どちらともいえない』が34.7%との回答であった

また、医療機関の種類別に見ると、「病院歯科」の45.0%、「歯科診療所」の32.5%、「歯科大学・附属病院」の13.6%が『難しい』と回答した。「病院歯科」や「歯科診療所」に比較して、「歯科大学・歯学部附属病院」が説明を『難しい』と答えた比率は半分以下であった（図-11）。

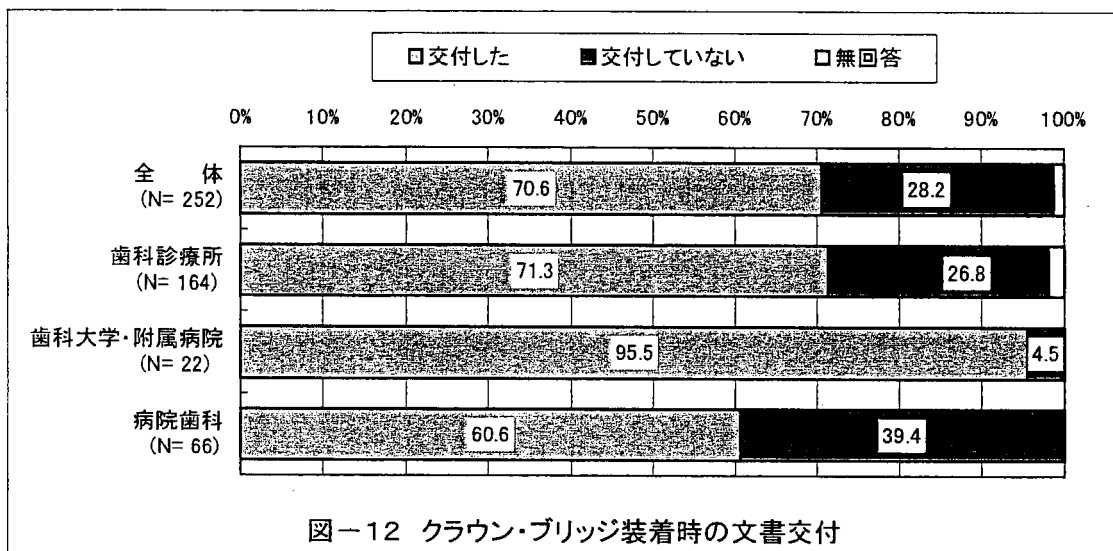


1 1) クラウン・ブリッジ装着時の日付・医療機関名・治療した部位等を記入した文書の交付

クラウン・ブリッジ装着時の文書交付を全体で見ると、「交付した」が70.6%、「交付していない」が28.2%との回答であった。

次に医療機関の種類別に見ると、「交付した」と回答したのは、「歯科大学・附属病院」の95.5%、「歯科診療所」の71.3%、「病院歯科」の60.6%であった。

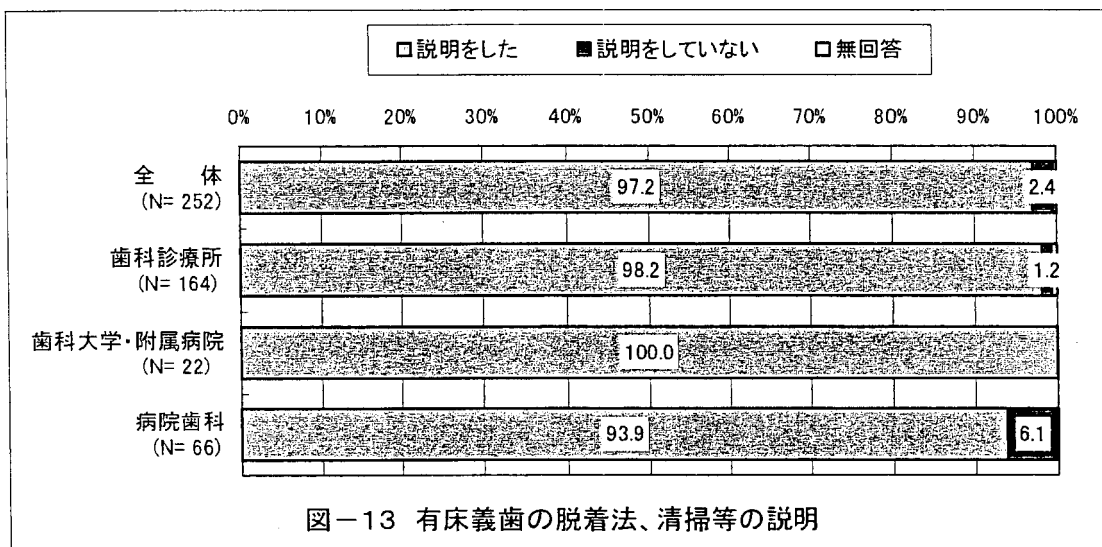
(図-12)。



1 2) 有床義歯の脱着法、清掃等の説明の有無

有床義歯の脱着法、清掃等の説明を全体で見ると、「説明をした」が97.2%、「説明をしていない」2.4%との回答であった。

医療機関の種類別に見ると、「説明をした」と回答したのは、「歯科診療所」の98.2%、「歯科大学・附属病院」の100.0%、「病院歯科」の93.9%であった(図-13)。



1 3) 有床義歯の脱着法、清掃等の説明に対する評価

有床義歯の脱着法、清掃等の説明に対する評価を全体で見ると、『難しい』が 35.9%、『易しい』が 32.2%、『どちらともいえない』31.8%との回答であった。

また、医療機関の種類別に見ると、『難しい』と回答したのは、「病院歯科」の 50.0%、「歯科診療所」32.9%、「歯科大学・附属病院」が 18.2%であった（図-14）。

